

いきいきゼミナール

健康と医療についてゲストに語っていただくコーナーです

健康
と
医療

テーマ「もの忘れ外来」ゲスト 札幌宮の沢脳神経外科病院 松村 茂樹 院長

皆さんがもの忘れを気にするの
—もの忘れが気になる時は、どの
診療科を受診すればいいのですか。
「最近どうも忘れっぽい。でも何
科を受診すればいいのか分からな
い。ただの老化現象かもしれない
し…」。そう悩んだときに受診してほ
しいのが「もの忘れ外来」です。脳
神経外科、精神科・心療内科、神経
内科、老年内科で開設している病
院やクリニックが増えてきています。認知症の疑いの有無を診ますが、こ

は、認知症への不安があるからで
す。「もの忘れ外来」では、問診と簡
単な検査を行うことで、もの忘れの
原因を判別し、認知症かどうかを
診断します。
まずは問診票などを使い、日ごろ
の症状を詳しく聞いたうえで、質問形
式の認知機能検査(高次脳機能検
査)を行います。これらの結果から



れだけで判断するわけではありませ
ん。家庭や社会での生活に支障が
出ていないかということも、重要な判
断基準になります。さらに、脳のMRI
やCTによる画像検査、血流や脳波
の検査などを行い、ほかの病気にか
かっていないのかも調べます。
認知症のほかに、うつ病や特発性
正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫と
いった脳の病気が、もの忘れの原因

になっているケースもあるからです。
前日の夕飯に何を食べたのか思
い出せなかったり、人の名前が出て
こなかったりなど、誰にでも、もの忘
れはあるものです。ただ、自分自身
についてもそうですが、家族の様子
で「認知症では?」と心配になる場
合は、老化による年相応のもの忘
れなのか、認知症なのか、または別
の病気なのかを明らかにするため
にも早期の「もの忘れ外来」の受診
をお勧めします。

—認知症について教えてください。
認知症は、脳の神経の働きが悪
くなることで記憶力や判断力が低

下し、生活に支障が出る病気です。
認知症には、海馬という記憶を司る
脳の部位が萎縮する「アルツハイ
マー病」、脳卒中が原因の「血管性
認知症」、幻視や寝言、パーキンソ
ン病のような症状を伴う「レビー小体
型認知症」など、いくつかの種類が
あります。今のところ認知症は根本
的に治すことはできませんが、薬な
どで症状の進行を抑え、生活機能
の維持を目指すことが可能です。
認知症は早い段階で治療を開始
する方が、治療効果を期待できるこ
とが分かっています。早期の段階で
認知症を発見するために「もの忘れ
外来」があるといつていいでしょう。

病院
訪問

札幌宮の沢脳神経外科病院



▲待合室

主に脳血管
障害など脳
神経外科領
域を診療し、
医療を提供
しています。
24時間救急患者に対応し、脊椎脊髄の診療
や、主にめまいの診療を行う神経耳鼻科な
どの充実を図っています。



▲外観

住 所/札幌市西区西町南20丁目1-30
電話番号/011-664-7111
診察時間/月~金曜 9:00~12:00
13:00~17:00
土 曜 9:00~12:00
休 診 日/日曜・祝日
院 長/松村 茂樹

企画制作/北海道新聞社広告局